

# 木暮人連続セミナー 森と木が育む健やかな暮らし

2018年5月～10月 全6回シリーズ

## ◇セミナー概要◇

本連続セミナーは、先人の知恵や自然に添う生き方を模索、実践している「木暮人」な人々との対話から

健やかに生きる暮らしのヒントを探ります。

子供の未来・教育。森林医学や森林セラピー。森林・林業の未来。森と化学物質・ストレスや健康の関係。自然素材・無垢材の可能性など。多様な視点から健やかな暮らしについて考えていきます。

◇参加費：資料代として1,000円◇

## ◇申し込み方法◇

メールまたはお電話でお申込みください。

メール [infom@kogurebito.jp](mailto:infom@kogurebito.jp) 電話；03-6274-6575

## ◇会場◇

6回連続セミナーの会場は銀座または御茶ノ水のいずれかになりますので、その都度ご留意ください。

### ◇銀座会場◇

中央区銀座7-4-12  
銀座メディカルビル9階  
(旧ぎょうせいビル)  
セミナールーム  
東京メトロ銀座駅C3出口  
東京メトロ新橋駅5番出口

### ◇御茶ノ水会場◇

千代田区神田駿河台4-6  
御茶ノ水ソラシティアカデミア  
デジタルハリウッド大学3階  
E15教室  
JR「御茶ノ水駅」  
千代田線「新御茶ノ水駅」  
丸ノ内線「御茶ノ水駅」

## 登山家・医学博士の今井通子さんからのメッセージ

木暮人倶楽部総会記念講演より 2017年3月25日

世界の名峰を登ってきた、登山家で医学博士の今井通子さんは、次のように語られました。

私たちは、大気汚染、食品添加物、化学物質、化学製品そして放射能等不自然なものから、簡単に逃げる事は出来ない。

だからこそ、それらを跳ね返す、**生き物としての野生の力。そして免疫・自然治癒力を身につける事が大切。**

登山やマラソンは誰もがもつ「野生の力」を引き出してくれ、**豊かな自然の森林のチカラ、多様性、そして光・音・清浄で新鮮な空気こそが何より健康に大切なものであること。**

今井さんの原点は、医者であったご両親が子供の時から、休みに必ず海や山で過ごし、そのくらしの習慣が、世界の山にも挑戦できる自分の健康を養ってくれていた。という経験を振り返られました。



## ◇6回シリーズ予定◇

① 5/26 (土) 14:00～17:00

「森の中の保育でみえたこと」

映画監督・筒井勝彦

森のようちえんピッコロ代表 中島久美子

② 6/16 (土) 14:00～17:00

「木の凄い家～施主と設計者が語る、いい家とは？」

吉田就彦 木暮人倶楽部理事長

落合俊也 森林・環境建築研究所

③ 7/14 (土) 14:00～17:00

「これからの林業・建築は俺にまかせろ」

鳥井英徳 ログ工房ととの森

杉浦剛一

三木一弥 森と踊る(株)

④ 8/25 (土) 14:00～17:00

「フィンランドのサウナ文化から学ぶ

森林と健康の素敵な関係」

東海林みき

⑤ 9/15 (土) 14:00～17:00

「建築家の自邸、金物も接着剤もつかわない木の家」

山本厚生

⑥ 10/13 (土) 14:00～17:00

「本物の国産桐はまだあった！

会津で昔ながらの立ち枯れ桐を産材をしている

齋藤桐材店の齋藤さんと山田さんの話」

会津齋藤桐材店 齋藤洋一

福島県農林水産部林業振興課 山田誠

◇主催・当該セミナーに関するお問い合わせ先

一般社団法人木暮人倶楽部

木暮人倶楽部は、素晴らしい日本の木の文化と天然志向の木の良さを社会にアピールすることで木のファンを増やし、林業の健全な発展と木とともに、暮らしに良い環境の醸成や森林の保全及び育成に寄与する事を目的に設立されました。

住所：〒104-0061 東京都中央区銀座7-4-12

銀座メディカルビル9階

Mail: [infom@kogurebito.jp](mailto:infom@kogurebito.jp) TEL: 03-6274-6575

FAX: 03-6274-6422 サイト: <http://www.kogurebito.jp>



◇共催

「デジタルハリウッド大学院吉田就彦研究室森林・林業研究部会」

# 木暮人連続セミナー2018 6回連続 森と木が育む健やかな暮らし



2018年9月15日 土曜日 14:00~17:00  
@御茶ノ水 デジタルハリウッド大学教室  
資料代:1,000円 17:30~懇親会(希望者)

「まち場の木の家の家づくりは

復活する

山本厚生 .. 建築士ひと裁ち折り紙創案者



山本厚生(やまもとこうせい)  
建築家ひと裁ち折り創案者  
島根県隠岐出身 東京建築カレッジ講師  
新建築家技術者集団代表幹事 一級建築士  
東京藝術大学建築科卒業 一九八八年生活建築研究所を設立  
小説「收容所」シリーズから来た遺書(辺見しゅん著の主人公  
山本幡男氏の次男として)「父の遺書」  
自ら開発したひと裁ち折り紙の講演活動も行っている  
著書「家族と住まい」新住宅設計論ドメス出版  
「家族をひらくすまいづくり」萌文社  
「ひと裁ち折り」と山本厚生の世界 萌文社 等

## 「まち場の木の家の家づくりは復活する」

山本厚生さんはおよそ50年間、すまいづくりは「生活環境をよりよくする事。」という信条のもと、おひとりおひとりの暮らしに寄り添い、それぞれの問題・課題解決に丁寧に取り組んでいらっしゃいました。そしてそれは、「まち場のつくり手たちと力をあわせること」で実現するものでした。1975年頃から住宅建築は手つかずの巨大な市場ととらえ、財界主導の工業製品としての住宅ビジネスとなり、「まち場の木の家の家づくり」の文化は失われていきました。21世紀に入り社会は混迷の道をたどっています。貧富格差の拡大。差別と分断。いじめや引きこもり。地球環境の異変と生態系の亀裂や資源の枯渇。一方で何にも支配されず、自分らしく生きていきたい。人の役に立ち、地域や自然と健康に共存する生き方。暮らしの文化を継承することが、尊いと考える人も増えてきています。厚生さんは、これらの変革こそ、「まち場の木の家の家づくり」の生き方と同じ軸と考えています。1年前神奈川の里山に自らの設計した、金物や工業製品を一切つかわない木の家を建て移住をされた山本厚生さんは、地域の人との縁、そして沢山の気付きがあったそうです。「まち場の木の家の家づくりの復活」は、人、そして地球環境の尊厳を取り戻すことに繋がる。という確信・信念をお話頂きます。

◇会場 御茶ノ水◇  
東京都千代田区神田駿河台4-6  
御茶ノ水ソラシティアカデミア  
デジタルハリウッド大学3階  
・JR「御茶ノ水駅」より徒歩1分  
・千代田線「新御茶ノ水駅」直結  
・丸の内線「御茶ノ水駅」より徒歩4分



## 次回10月13日の木暮人セミナー

「本物の国産桐はまだあった！」  
会津で昔ながらの立ち枯れ桐を産材をしている齋藤桐材店の齋藤さんと山田さんの話  
会津齋藤桐材店 齋藤洋一  
福島県農林水産部林業振興課 山田誠

★★★準備の都合上、内容日程場所など変更する場合がありますことをご容赦願います。★★★